

Ⅲ 中間評価の目的と進め方

各世代で重点的に取り組む課題を絞り込み、生涯を通じた健康づくりの主体である個人、個人を取り巻く家庭や地域社会、個人の豊かな生活を実現するための施策を実施する行政がそれぞれの役割を担い、健康なまちづくりに取り組んできています。

社会情勢の変化や健康に対する価値観の変化等に弾力的に対応するため、計画の中間年度である平成19年度に中間評価部会を設置し、計画の中間評価と数値目標の見直しを行いました。

<中間評価の流れ>

実施日時	形態	内容
18年8月～11月	中間評価事業調査	各年代の重点課題の指標に関する全市調査 調査票配布による自記式調査法 有効回答数 長岡地域：2,311 支所地域：1,022
19年6月11日(月) ～6月13日(水)	歩数調査	青年期・壮年期・高齢期の計261名に対し、起床から就寝までの歩数調査を実施。 期間3日間
19年8月	進捗状況調査	各重点取り組み事業の18年度実績調査
19年9月27日(木) 19:00～21:00	第1回中間評価部会 年代別グループ	・重点課題の健康指標・行動生活様式の指標の現状値と中間値との比較と評価(※) ・変化に関する原因・背景の分析
19年10月29日(月) 18:30～21:00	第2回中間評価部会 年代別グループ	・指標の変化、変化に関する原因・背景と取り組み事業の関係を確認 ・重点課題の改善に必要な取り組みの検討・取り組みの方向性の提案
第2回部会での提案を各取り組み実施主体に提示し、今後の方向性の検討を依頼。		
19年12月17日(月) 18:30～21:00	第3回中間評価部会 年代別グループ	・追加指標、目標値の変更に関する検討 ・各取り組み事業の今後の方向性を確認 ・世代のまとめ。全体発表

※現状値(旧長岡市)と長岡地域の中間値を比較して、その変化を評価しました。

※長岡地域の中間値が把握できない指標、現状値がない指標に関しては、「評価せず」としました。

※数値の増減だけでなく、検定結果や中間評価事業調査の自由意見等を総合的に判断して、「改善」「悪化」「変化なし」の評価をしました。

※各指標の中間値については、把握可能な直近データを使用しました。(詳細は出典参照)